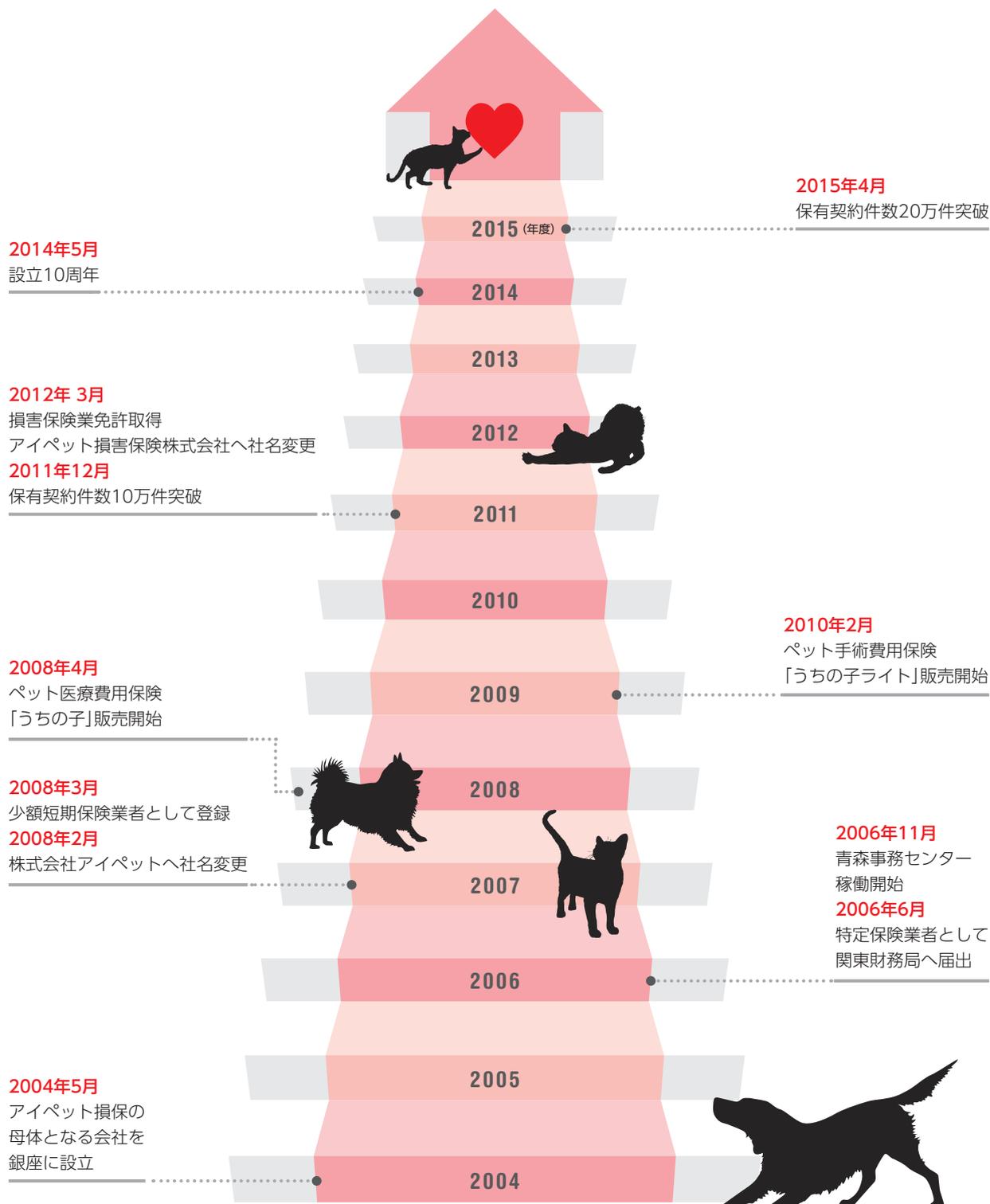


アイペット損保の沿革

アイペット損保は、2004年に設立され、2016年5月で12周年を迎えました。ペットとの共生環境の向上と、ペット産業の健全な発展を目指し、さらなる歩みを進めてまいります。



詳細な会社沿革につきましては会社HPをご覧ください。

<http://www.ipet-ins.com/>

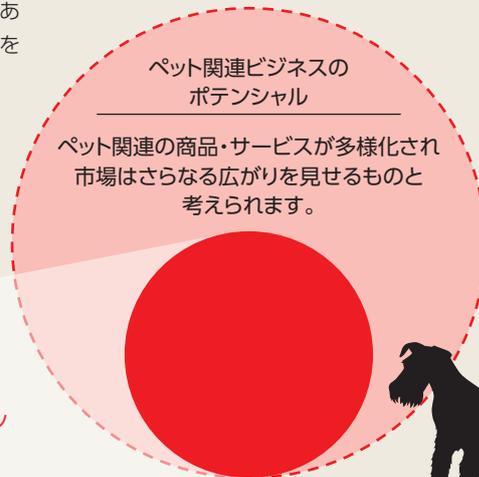
ペット市場を知る

国内ペット関連ビジネスの可能性

コアビジネスであるペット保険は、7倍以上の成長ポテンシャルがあると考えております。さらに周辺のペット関連ビジネスには、1.4兆円を超える巨大なマーケットが存在しております。



7倍以上の
成長ポテンシャル



出典：(株)矢野経済研究所「ペットマーケティング総覧2016年版」(2016年3月)

ペット飼育頭数

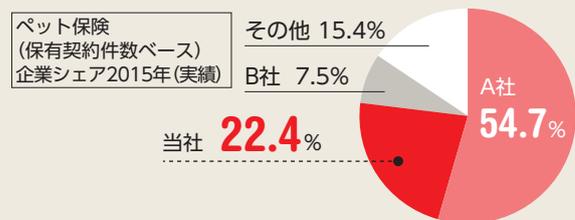
2016年4月1日現在、日本の15歳未満の子どもの数は1,605万人。これに対してペットの飼育頭数は1,979万頭を超えていると推計されております。



出典：総務省統計局「人口推計」
一般社団法人ペットフード協会「平成27年(2015年)全国犬猫飼育実態調査」

ペット保険のマーケットシェア

ペット保険業界は、当社を含む上位2社でマーケットの約8割を占めております。



出典：株式会社富士経済
「2016年ペット関連市場マーケティング総覧」

総合傷病ランキング

総合傷病ランキング(種別、年齢不問)では、皮膚炎、外耳炎、下痢などの傷病が多くなっております。

総合傷病ランキング	全体に占める割合(%)
1 皮膚炎	12.3
2 外耳炎	9.7
3 下痢	7.5
4 嘔吐	3.9
5 腫瘍	3.8

2015年8月1日～2016年3月31日 当社への保険金請求件数をもとに作成(当社へ直接保険金請求があったもののみ)

平均手術診療費

平均手術診療費は10万円を超えております。



2015年8月1日～2016年3月31日 当社への保険金請求額をもとに作成(当社へ直接保険金請求があったもののみ)

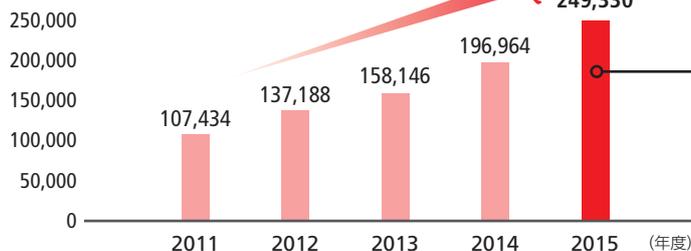
2015年度の現況

保有契約件数、収入保険料ともに順調に推移しており、多くの方にアイペット損保のペット保険をご利用いただいております。また、アイペット対応動物病院制度にご協力いただける動物病院も増えております。



保有契約件数24万件を突破

保有契約件数推移 (単位: 件)



保有契約件数増加率

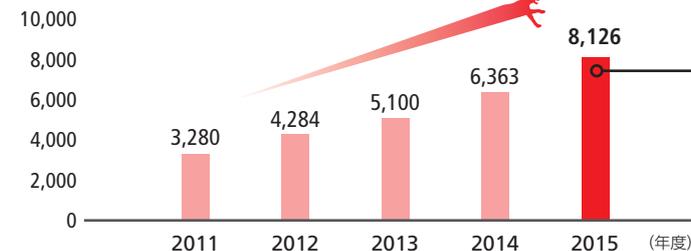
+27%

2015年度末の保有契約件数は、商品内容を高く評価いただき、前年末から約5万2千件増加し、24万9千件となりました。



収入保険料81億円を突破

収入保険料推移 (単位: 百万円)



収入保険料増加率

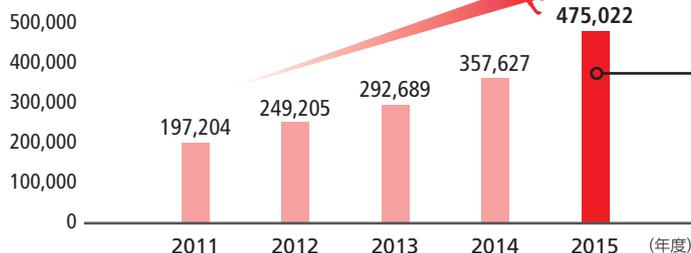
+28%

契約数の増加に伴い、2015年度の収入保険料は前年末から約17億円増加し、81億円となりました。



保険金支払件数47万件を突破

保険金支払件数推移 (単位: 件)



保険金支払件数対前年比

+11万件

2015年度保険金支払件数は、47万5千件となりました。これからもより多くの「うちの子」の助けになればと思っています。

※通院・入院・手術について、それぞれの回数を集計しています。



アイペット対応動物病院の展開

アイペット対応動物病院とは、診療費のお支払い時に当社の保険証を提示することにより、その場でお客さま負担分のみのお支払いとなる動物病院をいいます。(詳細は、P.17の「保険金のお支払い」をご覧ください。)

アイペット対応動物病院数

3,770病院

2016年3月末現在

代表的な経営指標

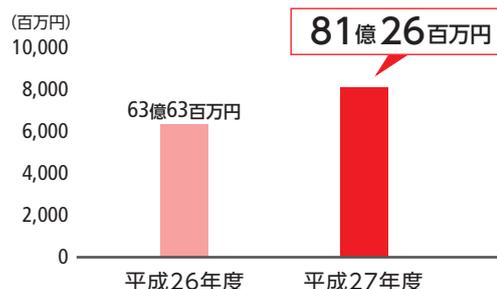
(単位：百万円)

項目	平成26年度	平成27年度
正味収入保険料 (対前年比)	6,363 (+24.8%)	8,126 (+27.7%)
正味損害率	34.6%	36.7%
正味事業費率	50.9%	49.5%
保険引受利益	502	297
経常利益又は経常損失	△1,460	307
当期純利益又は当期純損失	△1,249	106
単体ソルベンシー・マージン比率	330.3%	379.2%*
総資産額	5,278	6,978
純資産額	2,069	2,674
その他有価証券評価差額金	—	△2

※当社における未経過保険料の算定方式は、従来、純保険料を基礎とした1/24法(月央基準)によっておりましたが、顧客保護の観点から、より保守的に責任準備金を積み立てるため、営業保険料を基礎とした1/12法(月末基準)に変更しております。従来の方により算定した場合、平成28年3月31日の単体ソルベンシー・マージン比率は337.0%となります。

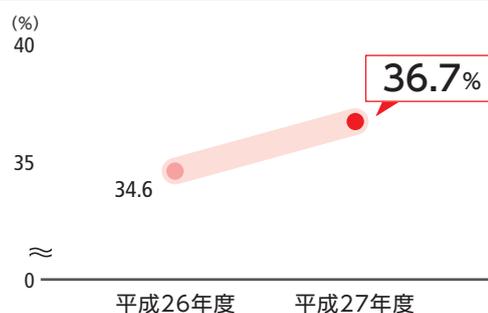
正味収入保険料

契約者から直接受け取った保険料に、保険金支払負担平均化・分散化を図るための他の保険会社との保険契約のやりとりを加減し、さらに将来契約者に予定利率を加えて返戻すべき原資となる積立保険料を控除した保険料です。当社では再保険契約がないため、全額が契約者から受領した保険料となっています。



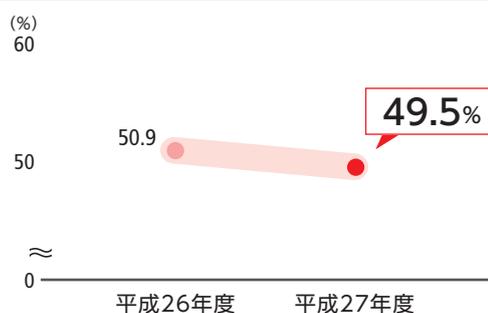
正味損害率

正味収入保険料に対する正味支払保険金と損害調査費の合計額の割合のことであり、保険会社の経営分析や保険料率の算出に用いられるものです。具体的には、損益計算書上の「正味支払保険金」に「損害調査費」を加えて、前述の「正味収入保険料」で除した割合を指しています。



正味事業費率

正味収入保険料に対する保険会社の保険事業上の経費の割合のことであり、正味損害率と同様に保険会社の経営分析や保険料率の算出に用いられるものです。具体的には、損益計算書上の「諸手数料及び集金費」に「営業費及び一般管理費」のうち保険引受に係る金額を加えて、前述の「正味収入保険料」で除した割合を指しています。



ペット保険の仕組み

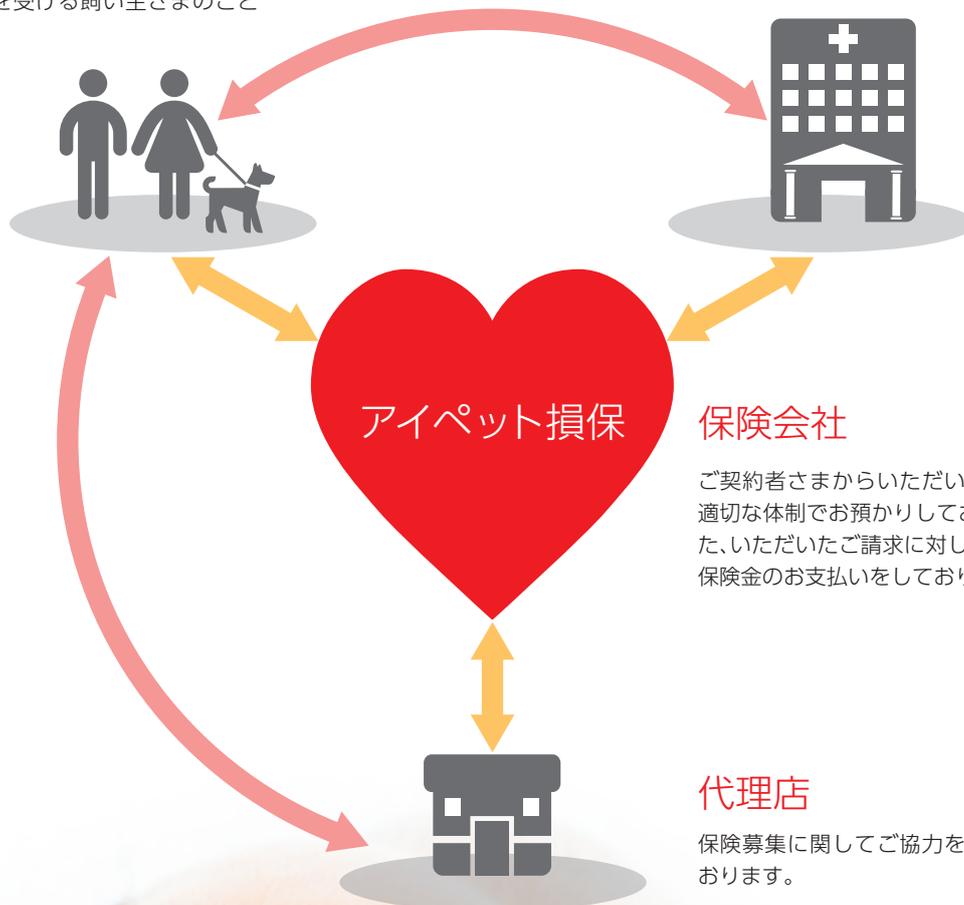
ペット保険は、大切なペットが怪我や病気等によって動物病院に通院した際の診療費を補償することで、お客さまの不安と負担を軽くするものです。

ご契約者(被保険者)さま

ペット保険の契約をされている、または、保険の補償を受ける飼い主さまのことを指します。

動物病院

診療情報のご提供および、病院窓口での精算にご協力(アイペット対応動物病院の場合)をいただいております。



保険会社

ご契約者さまからいただいた保険料を適切な体制でお預かりしております。また、いただいたご請求に対して遅滞なく保険金のお支払いをしております。

代理店

保険募集に関してご協力をいただいております。

